

# SymCalmin

(シムカルミン)

## 「ヒスタミン」放出抑制による抗炎症

**【特長】** カラスムギの抗炎症成分よりヒントを得て開発  
より安定でより安全な抗炎症作用、かゆみ止め作用  
抗ヒスタミン作用により炎症の引き金となるヒスタミン放出を抑制

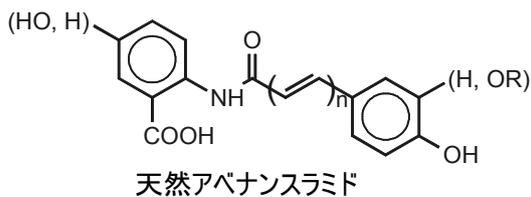
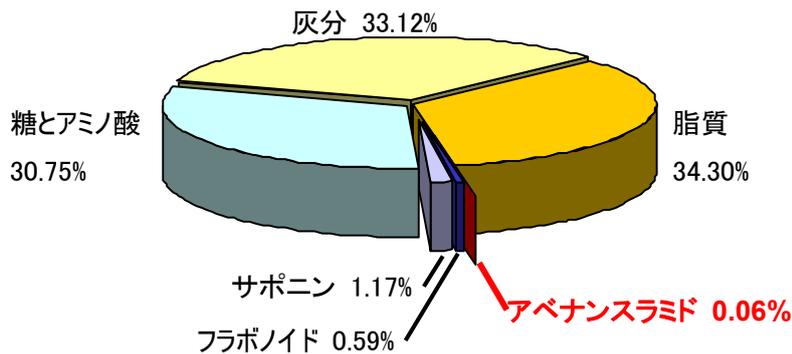
### 【コンセプト】

カラスムギ(燕麦:Oat)は古くから欧米で民間療法として用いられてきました。ドイツ薬局方には「痒み止め入浴剤」として、アメリカFDAでは「肌トリートメント」「健康食」として登録されています。

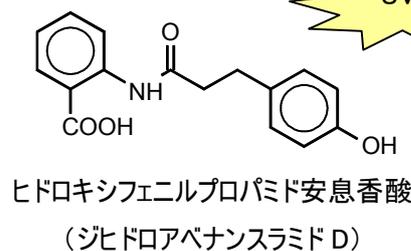
カラスムギの抗炎症成分は、アベナンスラミドという化合物です。しかし、カラスムギ中のアベナンスラミドは、ごく微量しか存在しません。

そこでシムライズは、40種類以上の合成アベナンスラミドの比較検討から、アベナンスラミド同様の抗炎症効果を持ち、更に、UVに対する安定性・皮膚への安全性が高い化合物“ヒドロキシフェニルプロパミド安息香酸(ジヒドロアベナンスラミドD)”を選び出しました。

SymCalminは、“ヒドロキシフェニルプロパミド安息香酸(ジヒドロアベナンスラミドD)”を50,000ppm含有する機能性化粧品原料です。



40種類以上から選択

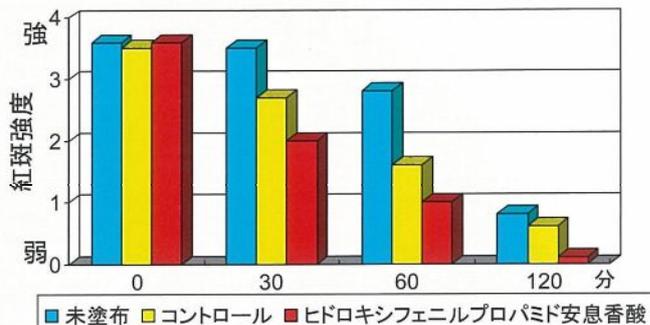
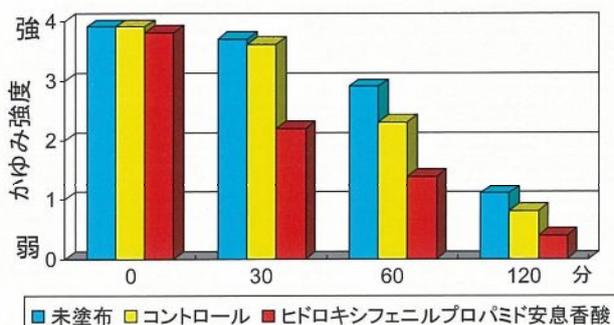


## 【効果・効能】

### 抗痒み、抗炎症についての官能テスト

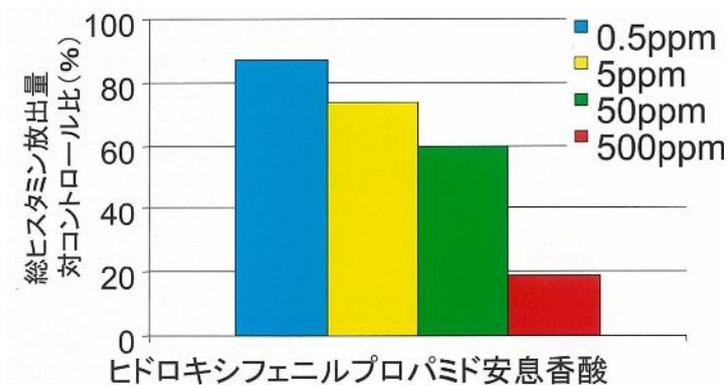
ヒトの皮膚に塩酸ヒスタミン液を塗布後、メスで穿孔して、痒み・炎症を起こし、官能テストによってその強さを評価しました。

その結果、ヒドロキシフェニルプロパミド安息香酸(500ppm)を塗布した場合、**痒みと紅斑が改善**しました。



### ヒスタミン放出抑制テスト

サブスタンスPによって引き起こされるラット腹膜肥満細胞のヒスタミン放出量を測定しました。その結果、ヒドロキシフェニルプロパミド安息香酸を与えた場合、**ヒスタミンの放出量が減少**する事が確認できました。



通常、アレルギー反応では、肥満細胞からのヒスタミン放出が引き金となって、痒み・赤み・腫れのような炎症が起こります。ヒドロキシフェニルプロパミド安息香酸は、ヒスタミン放出を抑制する事で、痒み・炎症を改善します。

## 【商品情報】

商品名 : SymGalmin (シムカルミン)

表示名称 : BG、ペンチレングリコール、ヒドロキシフェニルプロパミド安息香酸

製造元 : シムライズ株式会社